

森林総合研究所関西支所 令和7年度公開講演会

動く山、動く土

タイムスケールの異なる「土の動き」を解明する

古くから山は動かないものの代名詞とされ、有名な武田信玄軍旗「風林火山」の「山」は「動かざること山の如し」を意味していると言われています。しかし、山は不動のものではなく、山の土は実は動いているのです。ある時は一気に大きく動き、それが毎年のように起こる山地災害です。また一方で、土は長い時間をかけてゆっくりと動いてもあります。

この講演会では、近年の山地災害を振り返りながら、山の土の動きについて最新の研究成果をご紹介します。さらに新しい技術も動員し、被害の軽減策や山の土の見えざる動きの解明につなげられるか、皆様と考えたいと思います。

撮影地：静岡県静岡市葵区

日時

2025年7月4日(金)
13:10~16:30(開場12:30~)

会場

京都市北文化会館 ホール
(入場無料・事前申込優先)

13:20~13:30 趣旨説明

土のでき方と山の土のあり方

岡本 透(森林総合研究所関西支所 森林環境研究グループ長)

13:30~14:10 基調講演

2024年1月の能登半島地震による山地環境の変容

大丸 裕武 氏(石川県立大学 生物資源環境学部環境科学科 教授)

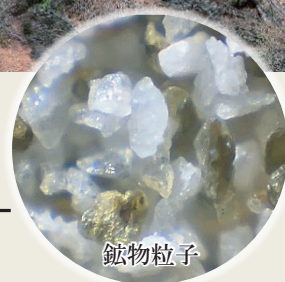
14:20~15:30 講演「放射性同位体を用いて土の動きを捉える」

ベリリウム10—数千年に及ぶ土の動きから読み解く京都市東山の地形発達—
渡壁 卓磨(森林総合研究所関西支所 森林環境研究グループ)

グローバルフォールアウト—大気圏内核実験から降下した放射性物質の所在—
伊藤 江利子(森林総合研究所関西支所 森林環境研究グループ)

15:45~16:25 質疑応答

2024年能登半島地震で発生した斜面崩壊



ベリリウム10粒子

申込み方法・お問合せ先は、裏面をご覧ください。講演会の詳細は、下記ページをご覧ください。

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fsm/events/20250704publiclecture.html>



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所関西支所

Kansai Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute



動く山、動く土

ータイムスケールの異なる「土の動き」を解明するー

申し込み方法

Eメールにて、お申込みください。

お名前(ふりがな)・ご所属・ご連絡先をお知らせください。

fsm-ren@ffpri.affrc.go.jp

※頂いた個人情報はこの講演会の業務以外には使用しません。

申し込み期限

2025年7月3日(木)17時

※お申込みへの返信を3営業日以内に送付いたします。

数日経過しても当所からの返信がない場合は、宛先のメールアドレスに入力の誤りがあるか、もしくはメールサーバーなどの設定により返信メールが自動的に削除された可能性がございます。お手数ですが、送受信の状況や設定をご確認の上、お問合せください。

開催会場

京都市北文化会館

〒603-8142

京都市北区小山北上総町49番地の2
(キタオオジタウン内)

京都市営地下鉄「北大路駅」下車(出入口1番)

市バス 「北大路バスターミナル」下車

京都バス 「北大路駅前」下車



お問合せ先



森林総合研究所関西支所 地域連携推進室

〒612-0855 京都市伏見区桃山町永井久太郎68 TEL:075-366-9902・9901

基盤岩が花崗岩の丘陵地で作成された土壌断面
(地面の中に土の動きを把握するための情報が詰まっている)